

Pod Jam Ginza

2007.10.20 17:00~19:00

Pod Music Street

ポッドジャム銀座は、2007年10月20日にアップルストア銀座 3F シアタールームにて開催されました。

主催：Pod Music Street プロデュース：Grassroots.Inc



今回はイベント全体を Creative Commons のライセンスで公開としました。

写真・ビデオ撮影

録音

複製・コピー

二次配信

撮影や録音をし、それをコピーし、二次配信することが可能です。

~~放棄・著作権フリー~~

一部だけ許可



ただし、著作権を放棄したり、著作権フリーというわけではありません。
著作権の一部だけ、使うことを許可しているだけです。

~~放棄・著作権フリー~~

一部だけ許可



複製・頒布・展示・実演
to share



二次的著作物を作成
to remix

Creative Commons では、“to share” “to remix” と呼ばれる行為を、いちいち許可を取らなくても行なうことができます。

写真撮影

書き起こし

録音

放棄・著作権フリー
ダウンロード

ビデオ撮影

コピー

ポッドキャスト

ばらまく

記事

動画共有

講演

翻訳

DVD

CD-ROM

複製・頒布・展示・実演
to share P2P

印刷

映像作品

リミックス

二次的著作物を作成
to re ドラマ

映画化

具体的には、このようなことができます。

~~放棄・著作権フリー~~

一部だけ許可

表示

 **creative
commons**



組み合わせで 6 種類

「クレジットの表示」が条件です。この条件さえ守れば、いちいち許可を取らなくても前ページのようなことができます。

ちなみに、この条件は全部で 6 種類あります。



= 表示（帰属）



= 非営利（非営利）



= 改変禁止（派生禁止）



= 継承（同一条件許諾）

組み合わせで 6 種類

6 種類は上記のアイコンの組み合わせ。

表示					 
表示	- 継承				 
表示	- 改変禁止				
表示	- 非営利				 
表示	- 非営利 - 継承			 	 
表示	- 非営利 - 改変禁止			 	

組み合わせで 6 種類

「表示」はすべてに適用。「非営利」が条件に入るかどうかで2つに分けれます。

あとは、改変（リミックス）が可能かどうかです。「改変禁止」のものは“to share”の行為はできません。「継承」は改変の際の再配布の条件です。

<http://www.creativecommons.jp/>

詳しくは、クリエイティブ・コモンズのサイトで。

実際には、公開する側は、2つの質問に答えるだけで6種類からライセンスが選ばれます。自動的に日本語以外の言語のライセンス分も用意されることになります。

~~放棄・著作権フリー~~

一部だけ許可

表示

 creative
commons



もう一度、おさらい。

今回のイベントの内容や後から公開される資料などは「表示」の条件を守ってもらえれば、コピーや配布、二次配信やリミックスなどが可能。（商用利用も可能）

~~放棄・著作権フリー~~

一部だけ許可



(楽曲の部分のみ)

ただし、アーティストの楽曲の部分のみ、Pod Music Street と同じ条件にします。
クレジット表記のほか、改変（リミックス）を禁止します。また、商用利用は止めてください。楽曲の部分のみです。ただし、アーティストに直接許可をもらった場合は別です。

シェアMUSIC

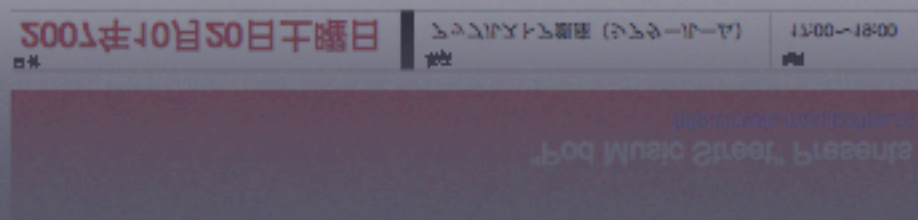
- ・ポッドキャストやウェブラジオなどで楽曲を流す。（BGMも可）
- ・「映像作品」にならない範囲で、ビデオポッドキャストでのBGM。
- ・全曲無料でダウンロード。他のパソコンや音楽プレーヤーに転送。CD-ROMに焼くことも可。（いずれも回数制限なし）
- ・楽曲のファイルやCD-ROMを人にあげてもよい。（家族以外でも可）
- ・P2Pソフトでの交換。
- ・自分のホームページやブログで再配信。
- ・屋内や屋外で楽曲を流すこと。人前で鼻歌を歌う。口笛を吹く。詩を朗読。コピー演奏。



Pod Music Street における、楽曲の利用の仕方の説明です。
逆に言うと、通常の楽曲は上記のようなことができません。（最後の行もね）



条件から外れる
 場合でも、直接
 許可をもらえば
 OK。



今回、イベントの告知で作ったチラシ。ここで使っている写真も Creative Commons でライセンス提供されたものでした。Creative Commons は音楽だけのものではないのです。
 なお、条件では「改変禁止」でしたが、著作者に連絡をし、直接許可をもらいました。

Gut & Steel

ロック、スパニッシュ、ラテン、ボサノバ、ジャズ、ブルースといったジャンルにとらわれない変幻自在の音を奏でるギターインストユニット。

2005年春頃からポッドキャストによる音源公開をはじめている。

<http://gutandsteel.seesaa.net/>

ここで、ライセンスを確認した上で、1組目のアーティストの演奏が入りました。

Pod Jam

ポッドキャストで自由に流せる音楽を集めた
サイト“Pod Music Street”のリアルイベント
として 2006年5月よりアップルストア名古屋
栄にて開催。過去4回実施。

ポッドキャストと音楽のイベントとして定着。
今回、初の東京での開催。

<http://music.mycupoftea.cc/>

Pod Jam



いつも行なっている名古屋のアップルストアでの様子。
銀座とは違い、オープンなスペースで行なっています。

Pod Music Street

<http://music.mycupoftea.cc/>

Pod Jam は Pod Music Street というサイトから派生した企画です。

Podsafe（ポッドセーフ） を集めたサイト

Pod Music Street とは、一言でいえば「Podsafe を集めたサイト」。
Podsafe とは、「ポッドキャストで流して構わない音楽」のことです。

Pod Music Street オープンまで

2005年2月 ポトフ、ポッドキャストを始める
(屋外録音、楽曲紹介)

2月23日 iPodder.org directory に登録される

6月28日 iTunes4.9 Podcast directory に登録される

8月 4日 iTunes Music Store Japan スタート

8月23日 Podsafe Music Network スタート

10月12日 “Pod Music Street” 構築開始

thin-pさん

そんな Pod Music Street がオープンするまで。

2005年8月頃に thin-p(ティーピー)さんにけしかけられた、というのが直接のきっかけ。

ユーザID または e-mail:

天竺

一六八

Thor

— 3 —

I hope someday you'll join us and the world will be as one
by John Lennon

“Pod Music Street”
2005.12.8 Open

作ろう。

for アーティスト

De als e

● ログイン

ユーザID または e-mail:

potaufeu

パスワード:

.....

☐ IDとパスワードを記憶

ログイン

[パスワード紛失](#)

[新規登録](#)

● メインメニュー

- ホーム
- 最新情報
- ニュース
- フォーラム

● 音楽メニュー

- シェアMUSIC
- みんなのおすすめポッドセーフ
- ポッドキャスト集
- フリーマーケット

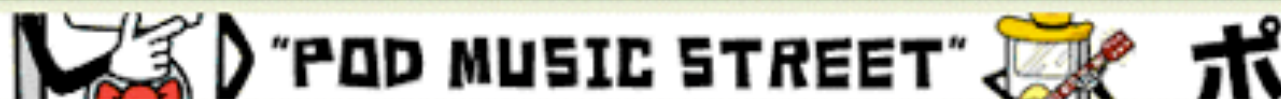
● 便利メニュー

- サイトマップ
- PMS辞書
- パートナーサイト

● サイト情報

サイト管理者

●



音楽の未来をシェアしよう

*I hope someday you'll join us and the world will be as one
by John Lennon*

12月8日 25年前に1人の夢想家がこの世を去った。
僕らはここから始めよう。音楽の未来を作ろう。



● コンセプト

「Pod Music Street」は、自由な音楽が流れるストリート。

アーティスト - ポッドキャスター - リスナーがフラットな関係で音楽を楽しみ、共有する場所です。

→[PMS's concept comic](#)

● このサイトは？

- Pod Music Street
- for アーティスト
- for ポッドキャスター
- for リスナー

● BBS

[よむ / かく](#)

シェアMUSICが画像表記ができないのが残念だけど、RSSラジオで勘弁下さい。

もうちょっと「おすすめ」と「シェア」との区別を分かりやすくしないといけないのかなあ？

by ポトフ 12/16 18:31

出張確認しました。YBR記事に貼付けたプレーヤにも自動的に反映されてますねえ、素晴らしいです。あとアートワークも登場しましたね。いい感じです。私の登録曲もなるべくアー

8 December 2005

4° 祝の暮暮甲を夜々くふー
暮暮の生にけいけい/夜にふ

あんまりデザイン変わってないですが、特徴としては、ネットで知り合った人たちでボランティアベースに作りました。システムとか分かる人間はゼロ。イラストやコンセプト、オープン日、オフィシャルジングル、曲集めなどすべて有志で。いまだに実際に合ったことがない人がほとんど。そんなアナログですがウェブ2.0っぽいノリで作られました。

Pod Music Street オープン後

2005年12月 Pod Music Street オープン

ポッドキャスト
と音楽

2006年

1月29日 KPM#3 ヘゲストに招かれる →

5月20日 「ポッドジャム名古屋栄」を開催

9月 2日 Pod Jam 2

12月 9日 Pod Jam 3 (Pod Music Street 1周年記念)

2007年

むしろ
音楽イベント

4月15日 Pod Jam 4

10月20日 Pod Jam Ginza

オープン後はすぐにサイトを飛び出し、イベントがメインとなっていきました。

The background image shows a modern, open-plan interior space, possibly a library or a community center. In the foreground, there's a glass railing. Behind it, several people are visible, some standing and some sitting at tables. There are large speakers and what looks like a stage area in the background. The overall atmosphere is bright and airy, with a focus on community and music.

Podcast

音楽を流し続ける

Pod Music Street

ポッドセーフを集める

Pod Jam

音楽イベント

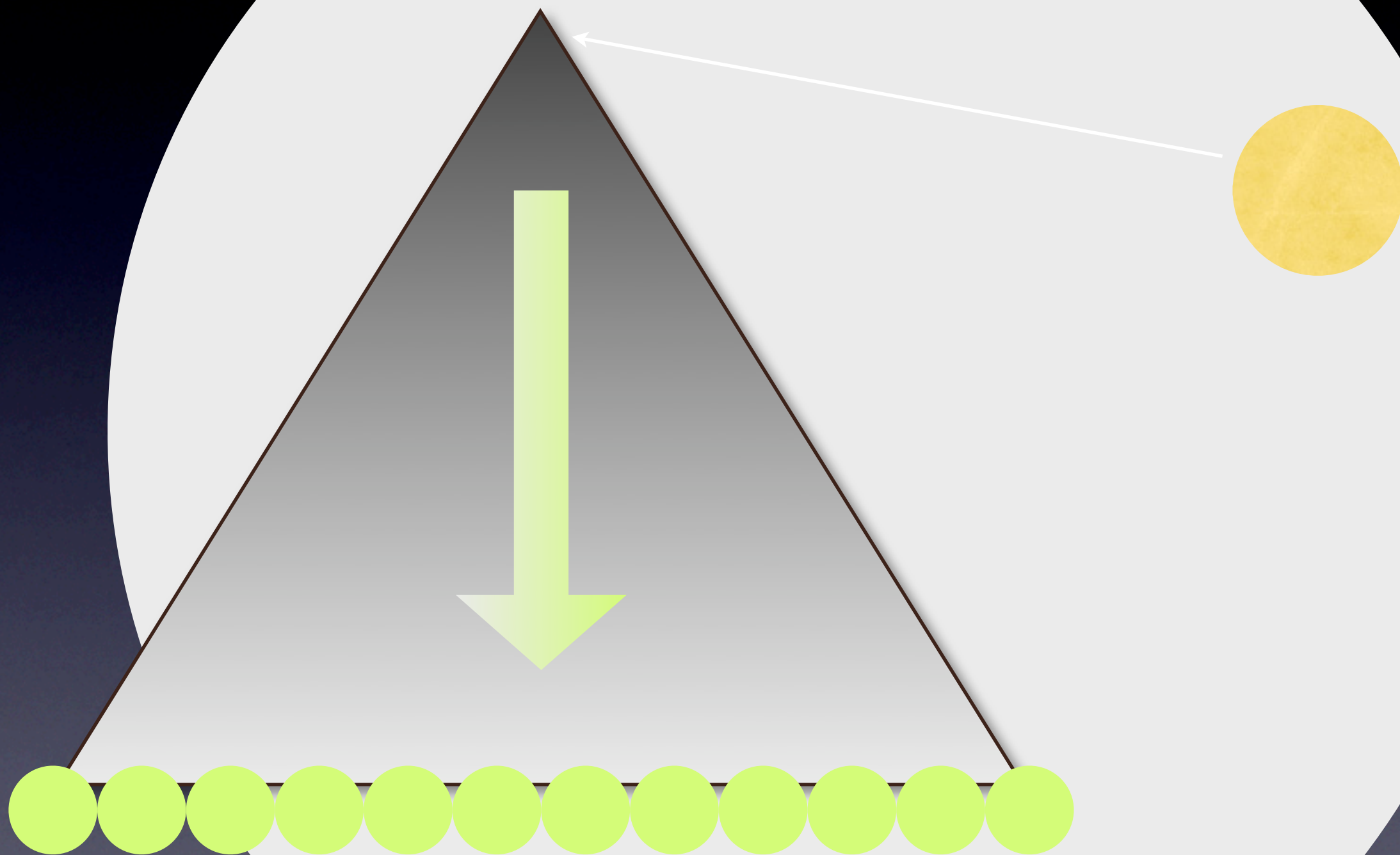
音樂著作權

ササキ"jinke"ケンジ

2001年7月21日ユニバーサル・ミュージック・マインドゲームズよりメジャーデビューしたミュージシャンでありながら、全国60局のコミュニティFMでパーソナリティをつとめる放浪系シンガーソングライター。ポッドキャスト番組「AOR奥様」の制作にも携わる。

<http://jinketrio.com/index.html>

音楽の流通



27

三角形が既存の音楽ビジネスのシステム。オレンジの丸がアーティスト。緑の丸がリスナー。背後の大きな白い丸がインターネットなのですが、要するに、音楽の流通の仕方の変化のイメージです。

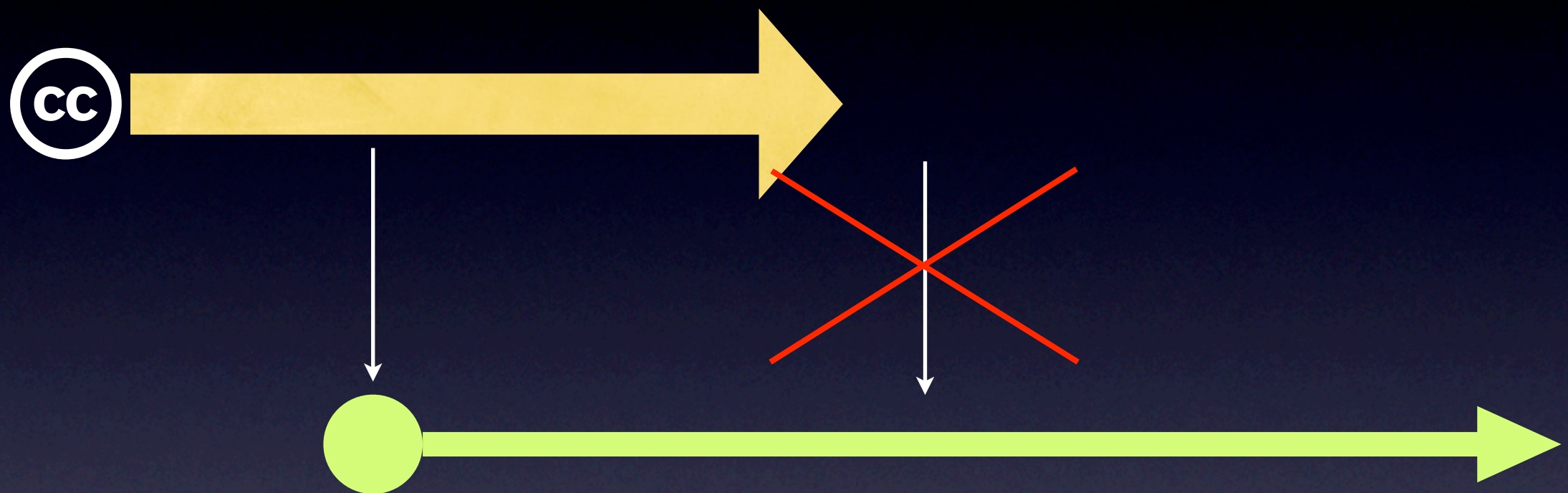


既存のシステムを飲み込んでいるネットだけど、既存のシステムはなかなか変わりそうにない。であれば、既存のシステムの外側でアーティストとリスナーは良い関係が作れないだろうか。その1つのツールとして Creative Commons は有効ではないでしょうか？



Creative Commons をアーティストが利用することは、いままで有料で売っていた楽曲を無料ではらまくことになります。ただ、無料ではらまいても楽曲が売れないとは限らない。逆に、ばらまかれたことで新たに知って買う人も出てくる。もちろん、無料で手に入ったから買わない人も出てくる。そのバランスはどちらがおおいのでしょうか。

© のデメリット



ライセンスの効力は永久

もちろん、Creative Commons を採用するデメリットはあります。一番大きなデメリットは、ライセンスの利用は条件を守れば誰でも利用できますが、簡単ではあるがちゃんとしたライセンス契約であり、そのライセンスの効力は永久だということ。そのデメリットはちゃんと知っておくべきです。

GarageBand Users Club

<http://gbuc.net/>

31
なお、Pod Music Street のオープン前から存在する日本のサイトで GarageBand Users Club というサイトがあり、アーティストからの楽曲投稿が可能です。すべてが Creative Commons で楽曲が提供されています。

WANGMOH with kcsaito

歌手・イランストレーターである WANGMOH (ワンモ)とジャズピアニストである kcsaitoさんによるコラボユニット。2006年よりネット上で結成され数々の楽曲を発表している。

<http://www.wangmoh.com/>

<http://homepage.mac.com/kcsaito1963/>

そんな、GarageBand Users Club から生まれたユニットが3組目のアーティスト。ここでは、Creative Commons が良い影響をおよぼした例として紹介させて頂きました。

Pod Jam 5

at Apple Store, Nagoya Sakae

2007.12.08

<http://music.mycupoftea.cc/>

なお、Pod Music Street の2周年となる 2007年12月8日に、Pod Jam 5 が開催することが決定しました。また、ネット中継も予定していますのでお楽しみに。

Presented by Pod Music Street
Produce by Grassroots Inc.

